

市 研 特別活動 速報

【高学年部会】

発行日 平成28年11月9日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り拓く子どもを育てる学級活動の在り方
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるには～

活 動 名 「アントレンジャーハウスを作って6-3の足跡を残そう」

○活動のねらい

「アントレンジャーハウスを作って6-3の足跡を残そう」の活動を通して、自分たちで企画、運営し実践することで達成感を感じたり、学級や友達、自分のよさを感じたりしながら、協力してよりよい学級をつくろうとする態度を育てる。

○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・学級のめあてを明確に意識して、学級全体で取り組むことができるように、個人のめあてを教室に掲示する。
- ・友達からの評価を受け止め、自信につなげることができるように、認め合いの方法を工夫する。
- ・これまでの活動での子どもたちのがんばりに対して達成感を得たり今後の目標につなげたりできるように、子どもたちの振り返りを視覚的に捉えられることができるようにする。

○研究討議・講評から

- ・振り返りでは、先にグループの友達にカードを記入してもらい、その後自分自身の振り返りという順番にしたのがよかった。また、そのような順番にしたことで、子ども一人ひとりのやる気につながったり、書くことが苦手な子どもも「書いてみようかな」という気持ちになったりした。
- ・子どもたちの「自分のクラスをどうしたいか」というところをスタートにし、活動を通して子どもの思いや願いを実現することが、自尊感情につながる。そのためには、今後認め合いの手立てだけではなく、役割分担等の手立ても必要となる。
- ・自尊感情を向上させるには、「自律（立）」と「自治」の取組をしていくとよい。本活動では「自分たちの成長を感じる」「学級をよりよくしていく」というねらいがよかった。活動を通して「自分たちは成長したんだ」と思えることが自尊感情を向上させる。また、学級目標を基盤にして、自分たちでよりよい学級づくりをしていくと自然に「自律（立）」が生まれ、規範意識が高まる。
- ・学級活動は積み重ねが大切。1年生から学級活動をすることで子どもたちは自然に知り合うことができるからこそどんどん活動したほうがよい。また、活動の中に「認め合い」を意図的に入れることで人間関係をつくっていく。
- ・子どもたちが本音や思いをぶつけあった先に、自尊感情がある。そのようなことを経験させ、自立させて中学校に送り出してほしい。